

# 日本共産党は負担を抑えるため努力

ひどい!

# 介護保険料 4~5割も 値上げ

値上げは死活問題と悲鳴

3月市議会では介護保険料(平成24~26年度)が平均43%も値上げされ「今でも大変なのに値上げは死活問題」と悲鳴があがっています。

## 大幅値上げの一方で 介護保険のお金を流用

別府速見広域圏事務組合が運営してきた特別養護老人ホーム「広寿苑」が民営化され、その積立金が約2億円も別府市に入りました。

日本共産党は「このお金は介護保険の中で積み立てられてきたもので、介護保険会計に入れて、保険料の値上げ幅を抑えるべき」と主張しましたが、受け入れられず残念です。今後も保険料軽減のためがんばります。

## 手続きをしましょう

## 介護保険料が半額になります

日本共産党が一貫して要求してきた軽減制度が充実されました。第1段階・第2段階・第3段階の一部の方は、手続きをすれば介護保険料が半額になります。収入は生活保護基準の1.2倍、資産は預貯金350万円以内の方が対象です。大いに活用しましょう。

市役所の高齢者福祉課  
TEL 0977-21-1111  
にお問い合わせを。

## 理由も言わず賛成なんてひどい!

介護保険の問題を一貫してとり上げてきたのは日本共産党だけです。市民生活に大きな影響を与える大幅値上げに、共産党以外は質問もしないまま賛成しました。



《反対》日本共産党、行財政改革クラブ  
《賛成》自民党、公明党、市民クラブ  
創政会、市民みんなの会

## 今年度から3年間の介護保険料

	段階	対象者	基準額に乘じる割合	H21年度~H23年度までの保険料		H24年度~H26年度の保険料		増減額		伸率	
				年額	月額	年額	月額	年額	月額		
世帯全員非課税	第1段階	高齢福祉年金、生活保護受給者	基準額×0.5	23,700円	1,975円	33,400円	2,783円	9,700円	808円	40.9%	
	第2段階	年金収入と所得の合計額が80万円以下	基準額×0.5	23,700円	1,975円	33,400円	2,783円	9,700円	808円	40.9%	
	第3段階	年金収入と所得の合計額が80万円超	基準額×0.75	35,500円	2,959円	50,100円	4,175円	14,600円	1,217円	41.1%	
本人非課税	第4段階	特例分	年金収入と所得の合計額が80万円以下	基準額×0.83	35,500円	2,959円	55,500円	4,625円	20,000円	1,667円	56.3%
		基準額	年金収入と所得の合計額が80万円超	基準額	47,400円	3,950円	66,800円	5,567円	19,400円	1,617円	40.9%
本人課税	第5段階	合計所得190万円未満	基準額×1.25	59,200円	4,933円	83,500円	6,958円	24,300円	2,025円	41.0%	
	第6段階	合計所得190万円以上	基準額×1.5	71,100円	5,925円	100,200円	8,350円	29,100円	2,425円	40.9%	
	第7段階	合計所得500万円以上	基準額×1.75			116,900円	9,742円	45,800円	3,817円	64.4%	

(参考) 所得 80万円…給与収入 145万円、所得 190万円…年金収入 310万円、給与収入 297万円  
所得 500万円…給与収入 689万円

日本共産党 別府市議団

# げんきニュース

発行責任者 平野 文活  
別府市石垣西8-2-31

2012.4.10  
No.507

あなたのご意見をお寄せください。  
TEL.0977-22-6576 FAX.0977-23-6529

別府市議会ホームページで議会の録画が見られます。別府市議会 → 議会中継



# 市長の無責任発言に怒り爆発

## 国保税3000円引き下げ

3月議会に国保加入世帯の3割ほどの世帯に平均3000円国保税の値下げを行う議案が提案され可決しました。それでも、所得200万円の2人世帯の国保税は32万7200円です。更に引き下げを目指し、今後とも皆さんとご一緒にがんばります。

## 「公約は努力目標」と浜田市長

猿渡（えんど）久子市議は12日の質疑で「浜田市長は選挙前『一般会計からの繰り入れを検討し国保税の負担を軽く』と公約したが、一般会計からの繰り入れは増えていない。この提案は特別会計の中のやりくりで、市長の公約実現とはならない」と迫りました。浜田市長は「選挙公約はあくまでも努力目標だ。」などと無責任な答弁です。

## 浜田市長が謝罪

えんど市議は声を荒げて「市民のみなさんに対して失礼じゃないですか！国保税の引き下げは市民のみなさんにとって死活問題なんですよ」と怒りました。その後、他の議員も批判し、浜田市長は「誠心誠意、公約実現に努力していく。」

えんど議員にお詫び申し上げます」と謝罪。15日の一般質問でえんど市議は「市民のみなさんに謝るべきだ。選挙公約は市民との約束であり責任がある。現職市長の公約は重い」と、市長に公約実現を強く求めました。

## 100%公約実現に努力と答弁

浜田博市長は「100%公約実現に努力します」と答弁しました。

えんど市議は「来年赤字解消のための繰り入れはするとのことだが、まだ公約実現にはならない。『選挙から2年たつても実現してくれん』となったら市民は

『市長は選挙前だけいいこと言っただけか』となる。早く公約実現すべき」と追及。何度も市長答弁を求める

えんど市議に、浜田市長は「市民との公約を果たせるよう指示している」と答弁しました。

## 住宅の改修補助・近鉄跡地で活性化を

えんど久子市議は、住宅リフォーム助成制度の実施を強く求め、「なるべく早く早く実施できるようにしたい」との市長答弁を引き出しました。また、「駅前の近鉄デパート跡地は別府の玄関口で重要。活性化のため今後市が買うことも検討しては」と提言しました。



▲えんど久子市議が提案した津波警戒標識が40ヶ所に設置されました。

えんど久子のホームページをぜひご覧ください。

えんど久子  検索



えんど市議は他にも、障がい者条例づくりや児童虐待防止等についても質問しました。

# 平野市議が要求

# 市民所得を増やす政治を

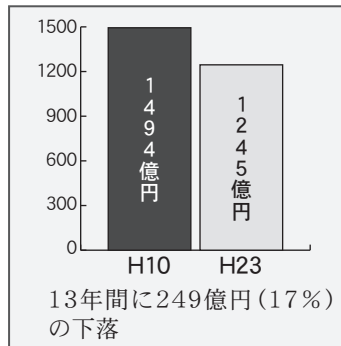


別府市民の所得は減り続けています。平野ふみかつ市議は「国保税や介護保険料の値上げなど、負担増ばかり求めるだけでなく、市民所得を増やす行政を」と強く求めました。

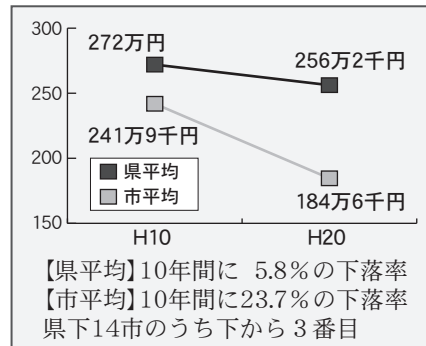


## 【平野議員が示した別府市の経済指標】

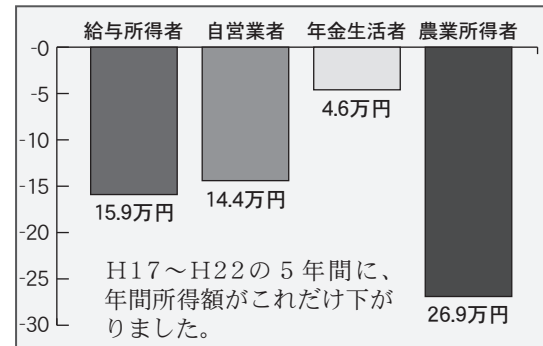
《市民総所得》



《1人当たり所得(年間)》



《1人当たり所得の減額分(年間)》



### 《市内総生産》

	1996年(H8)	⇒	2008年(H20)
第一次産業	18億3200万円		9億2200万円
第二次産業	322億2800万円		197億4200万円
第三次産業	3327億8900万円		3432億9500万円
総生産	3565億3600万円		3563億2600万円

⇒別府市の経済成長は止まったままです。特に、1次・2次産業は大幅に衰退しています。

★平野議員は「所得増の目標をもち、各産業ごとの振興策を探求すべき」と提起しました。

## 日本共産党の提案

この13年間数々の地域振興策を提案(その一部を紹介します)

(1) 部課長が足を運んで、市内の全事業所の実態を調査すること

年末には毎年、部課長あげて滞納督促をしている。取り立てに回るだけでなく、経営困難の実態を聞き取り行政に生かすなど、親身に足を運ぶべきだ。  
ゆめタウン誘致で周辺商店街は活性化したのか、アンケートを取るべき。

(2) 小規模事業者登録制度の創設を

30万円以下などの少額工事や契約は、入札資格を持たない零細業者に直接発注をすべき。

(3) 住宅リフォーム助成制度の創設を

住宅リフォームに10～20%の助成を(上限20万円)、助成額の10～20倍の経済効果がある。選挙前には実施を約束したが、選挙後は「検討中」と言うばかり。

(4) テキサスは撤退しないよう市長が申し入れを。ダイエー撤退後は、大型店ではなく地元業者が参入できるようにJRに要請を

テキサス従業員515人のうち233人は別府市民。JRは儲け本位でなく、地域経済の振興に協力すべきです。

★平野市議はこうした提案により、「安易な企業誘致より、地場産業・地元企業を育てる行政」への転換を求めてきました。しかし、浜田市長はなかなか取り上げません。

高すぎます！ 別府の国保税と介護保険料！

# 引き下げの財源はある

## 増え続ける市の基金 (貯金)

【平成10年度末】

81億円



【平成23年度末見込み】

119億円

(プラス38億円)

何にでも使える財政調整基金は、18億円から65億円へ、3.6倍も増えています。

## 市民所得は低いのに

## 国保税・介護保険料はなぜこんなに高い？

別府	介護保険料	国保税	市民所得
豊後大野	③ 5,567円	③ 303,100円	⑫ 184.6万
由布	① 6,250円	⑤ 294,500円	⑬ 182.4万
竹田	② 6,067円	⑬ 241,600円	⑨ 213.6万
杵築	④ 5,500円	① 316,700円	⑤ 239.6万
大分	④ 5,500円	⑦ 277,000円	④ 257.2万
津久見	⑥ 5,452円	⑨ 273,600円	① 323.3万
佐伯	⑦ 5,407円	② 305,500円	② 261.8万
豊高田	⑧ 5,300円	⑧ 275,300円	⑧ 215.8万
宇佐	⑨ 5,240円	⑥ 292,300円	⑦ 219.2万
中津	⑩ 4,990円	⑪ 252,800円	⑩ 207.7万
日田	⑪ 4,900円	⑩ 269,900円	③ 257.6万
臼杵	⑫ 4,885円	⑫ 245,200円	⑥ 223.9万
国東	⑬ 4,780円	④ 302,600円	⑭ 169.7万
	⑭ 4,750円	⑭ 216,700円	⑪ 192.3万

「介護保険料」は、基準額（月額）。①～⑭は県内順位。  
「国保税」は、所得124万円、4人家族、介護分を除く。  
「市民所得」は、1人当たり平均所得（平成20年）。

国保会計に入れるべきお金を  
一般会計にため込んできました

左のように、別府市の一般会計には百億円以上の基金があります。本来国保会計に入れるべき市の負担金を、長年にわたって（10年間に9億円）入れないで一般会計にため込んだ結果です。その一方で、平成20年度には国保税を35%も値上げしたのです。「国保税は高すぎる」という市民の批判を受けて、浜田市長は選挙前には「一般会計からの繰り入れを検討して、国保税の負担を軽減する」と公約しましたが、選挙が終われば実行しないままです。

また平成24年度予算では、本来介護保険会計に入れるべきお金を2億円も一般会計に繰り入れる一方で、介護保険料を43%も大幅に値上げしてしまいました。

浜田市政の財政運営はおかしいことだらけです。

## 『今日新聞』も評価

「共産党は踏み込んだ経済施策を提言」

3月24日付の『今日新聞』の「市政雑感」に、昨年6月議会から取材してきた檀上記者の率直な感想が掲載され、そのなかで日本共産党の活動について次のように紹介しています。

「現実の台所事情を考慮するなら、思い切った事業はなかなか生れて来ない。このドン詰まりの中を、共産党の平野文活さんと猿渡久子さんは『市民所得の増大を総合計画の中に目標設定せよ』『ダイエー撤退後は市内の中小事業者に優先的に店舗提供しては…』（中略）『住宅リフォーム助成による景気刺激』など、一歩踏み込んだ経済施策を提言している。（中略）『少なくとも現状を打破しようという意欲は感じられた。』『どんな良い意見でも共産党が提案すればオジャン』と言われた時代は終わった」と。

偏見なく客観的に見れば、日本共産党こそ「市民の目線」に立っている。